

## 経営理念

安全・確実・迅速・丁寧を業務に息づかせ、品質第一主義で顧客の信頼と満足を得る輸送サービスを提供し、デジタル技術を駆使し革新的な持続可能な未来への貢献を目指します。

## 1.経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性

### ① デジタル技術が社会や自社の競争環境にどのような影響を及ぼすかについて認識とその内容

東海タンカー株式会社は、業界の厳格な規制、環境懸念、人材不足、高齢化に真摯に取り組んでいます。特に、内航海運業において人材不足が深刻で、外国人の制限も影響を及ぼしています。業務効率向上に留まらず当社は人材の教育と技能向上に焦点を当て、新たな価値創造とサービス提供に努め、競争力を維持しています。これらの課題に真摯に向き合い、変革と創造を通じて競争環境に適応する決意を持っています。

### ② ①を踏まえたこれからの経営ビジョンとビジネスモデル

経営ビジョン:

「安全・確実・迅速・丁寧を業務に息づかせ、品質第一主義で顧客の信頼と満足を得る輸送サービスのDXを推進」

1. デジタルトランスフォーメーション (DX) に基づく運航最適化
2. デジタルスキル向上の人材育成
3. 環境配慮型輸送サービスの提供
4. 顧客とのデジタルを活用したコミュニケーションプラットフォームの構築

ビジネスモデル:

「安全・確実・迅速・丁寧を業務に息づかせ、品質第一主義で顧客の信頼と満足を得る輸送サービスのDXを推進」

1. デジタルトランスフォーメーション (DX) に基づく運航最適化
2. データ駆動型予防保全サービス (内航海運業におけるデジタル技術へのスキル向上モデルの構築)
3. 環境に配慮した船舶技術や再生可能エネルギーの導入を含む環境に優しい輸送サービスを提供

## 2.上記経営ビジョンとビジネスモデルを実現するための戦略

1. デジタルスキル向上の促進
2. デジタル技術の積極的な導入
3. 顧客とのデジタルコミュニケーションの構築
4. 地域IT企業との連携の強化 (パートナーシップの構築)
5. 積極的な人材採用・育成
6. データ駆動型管理と予防保全の推進

## 3.戦略を推進するための体制・組織

代表取締役の仲野を責任者として、以下の体制で当たな経営ビジョンとビジネスモデル実現に向けた体制を構築

